

私立大学情報教育協会  
平成26年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース報告  
E2班  
From the north of Hokkaido  
to the south of Fukuoka!!

1

発表テーマ

～授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む～



2

～授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む～

テーマ選定理由(1) 大学の役割

大学の役割とは？

しかし、そもそも**大学は研究・学問の場**である！

学ぶ楽しさへの  
気づきの促進

主体的に参加する  
力の養成

社会の活力となる  
人材の育成



役割を果たすためにも変化する現代社会において大学は学びの場の改善し続けなければならない！！

3

～授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む～

テーマ選定理由(2) 大学の現状

- ・自分で考えられる学生の減少
- ・授業の優先度が低い位置にある
- ・学生が授業の内容が学生の興味と合致していない



このような学生が増えれば、能動的に活動できる学生が減少し、学生が自ら解決しようとする姿勢が失われてしまう



授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む必要がある

4

～授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む～

解決策の検討

そこで私たちは大学で学ぶことの入り口である授業選択やWeb履修のツールであるポータルやシラバスについて視点を向けた。

5

～授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む～

解決策の検討

皆さんは今までポータルやシラバスが面倒くさいと感じたことはなかっただろうか？



6

～授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む～

## 解決策の検討

- ・事務的なスタイルのポータルをおしゃれに！！
- ・リアクションペーパーをポータル上で公開⇒学生間での意見の共有
- ・ポータル上に学生同士が話せる掲示板を作成する。
- ・シラバスをより学生に興味を持ってもらう内容にする。

今回は時間の都合上、シラバスについて例を示す。

7

～授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む～

## 解決策の検討

### そもそもシラバスとは？

シラバスは、教師がコースの初めに学生に配布する授業計画のこと。シラバスは教師と学生の一種の契約でもある。契約であるので教師は義務を負い、学生は契約に同意したということになる。つまりシラバスは、学生、教師双方が授業の成立に責任をもたせる役割がある。

つまり！！

学修計画の契約をするシラバスをより学生の  
興味とマッチさせることで学生が主体性を育む  
ことにつながる！！

8

～授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む～

## 解決策の検討(シラバスの改善)

### 利便性

教員側の書き方の統一

学びたいことが授業を逆引きできる

達成目標を確認できるカリキュラムマップの作成

### 内容の充実

授業評価アンケート結果の掲載

過去の受講者の意見の掲載

先生の顔写真の掲載

### 抵抗感の軽減

履修登録の際にシラバスが表示される仕様しておく

オープンキャンパスや入学者に対して実際にシラバスに触れてもらう

入学前学習に「シラバス入門」を組み込む

9

## シラバスのイメージ図

### シラバス検索

## カリキュラムマップの例

項目	専門的知識	態度・志向性		汎用的能力		
	専門的知識	チームワーク	主体性	情報リテラシー	論理的思考力	課題解決能力
各講義の修了時の達成目標	コンピュータやICT技術の基礎知識を得ると共に現代社会における情報技術の活用方法を理解する	情報の共有には、コミュニケーションが必須であり、メンバー間でコミュニケーションをとり、互いに助け合う活動を促進する	自分の状況を客観的に把握し、適切に分析を行い、自ら進んで解決していく能力を育む	情報の中から必要なものを探し出し、課題に即して情報・データを管理、活用できる人材となる	文章や意見の論理的内容を正確に把握できるようになり、それについての確かな批判ができる力を養う	専攻の把握、問題点の発見、さらに導かれた仮説の検証を自らに要求し、最適な解決策を導く
現代の情報基礎ゼミⅠ	◎	○	○	○	○	○
私情協の歴史	◎		○	○	○	○
情報セキュリティ基礎	◎			○	○	○
コンピュータ概論	◎	○		○	○	○
ICT入門	◎		○	○	○	○

11

Department	情報学部 情報研究科
Course title	私情協の歴史
Term / Unit	秋学期 / 2単位
Day Period	火曜日4限

クリックすれば先生の紹介画面に飛びようリンクを張る

Teacher 私情協 協太郎

**Summary**  
本講義では、私情協の発展についての諸課題を取りあげる。入門レベルを取り扱うので、基礎知識は問わないが、情報に関心のある学生、私情協の設立の経緯に関心を持つ学生を対象とする。

**Attainment target**  
情報が社会に及ぼす影響と社会側の課題についての基礎的知識の習得

**Preparation and Review**

**Assessment of academic**  
定期試験(筆記試験)の成績と平常成績で総合評価する。定期試験(80%)、レポート(20%)

**Important point**

**Textbook**  
特定の教科書は使用しない

**Syllabus planning**

第1回 ガイダンス	第8回 情報を学ぶ②
第2回 私情協の設立	第9回 情報を学ぶ③
第3回 関東の私情協	第10回 情報を学ぶ④
第4回 関西の私情協	第11回 これからの私情協
第5回 全国の私情協	第12回 私情協の問題点
第6回 私情協という組織	第13回 情報の本質を考える①
第7回 情報を学ぶ①	第14回 情報の本質を考える②
	第15回 総括

**Questionnaire**

**Voice**  
楽しく有意義に受講することができました。以前までは考えてもいなかったITパスポートに合格することができ、とても信じられません。先生も熱心に対応してくださったので、不満などはありません。

授業評価のアンケートをより学生に分かりやすい状態でシラバスに掲載する

～授業内容と学生の興味の合致  
により主体性を育む～

## 大学のイノベーションの提案

### 提案の内容

授業内容と学生の興味の合致により主体性を育む

### 何を問題として捉えたか

学生の自己解決能力と学修への意識の低さ

### 問題を解決する方法として何を提案するのか

ポータルやシラバスの親しみやすさで授業内容と学生の興味を合致させる

### これを実現するために、どのようなアプローチが必要か。

先程挙げたシラバスやポータルなどのICTを活用して学びの入り口を作る。

### 解決されたときの姿

主体性の発揮が期待でき、卒業後し学び続ける姿勢が養われる。

